大阪府立都島工業高等学校　応用化学科・工業化学科・理数工学科　同窓会

Annual 舎密会

編集人　藤原　啓治（工化 S45）　都工・理数工学研究室　大阪市都島区善源寺町1丁目5-64（事務局）

ご挨拶



工業化学科　昭和45年卒業
会　長　**藤原　啓治**

舎密会の皆様には、ますますご健勝にて、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、母校及び舎密会・浪速工業会に対し、何かとご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

舎密会として、例年通り会報の発行や、理数工学科卒業生への記念品贈呈、都工祭への後援、また、卒業生の成績優秀者に対する表彰を引き続き実施しました。

今回会報も8ページの充実した紙面になりました。スタッフが増え、いろいろ検討していただいたお陰です。役員も理数工学科卒業生が増え、いろいろなアイデアが生まれています。この1～2年で進めていけるよう頑張ってまいります。その時は協力、応援よろしくお願いします。

母校では、今年から一クラス定員で、32名の入学がありました。少なくなりましたが、進学に向けて頑張っていただきたいです。

今年の都工祭、体育祭が10月10日、文化祭が12月5日6日に開催されます、久しぶりの方も、卒業以来の方も見学に来ませんか。懐かしい方に会えるかもしれません。またクラス会なども開催されませんか。原稿を募集しています。

会費、広告、等々大変ですが、在校生や新入会員への支援活動と舎密会、浪速工業会の発展の為、ご援助賜りたくなにとぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健康、ご多幸をお祈りし挨拶とします。



令和7年度　懇親会より

2026年（令和8年度）　懇親会

日　時：令和8年8月29日（土）
　　午後6時　開始
会　場：天満橋　錦城閣
住　所：大阪市中央区天満橋京町1−1
　　大阪キャッスルホテル 3F
電　話：06−6941−2185
会　費：一　　般　　8，000円
　　女性・令和3年から令和7年卒
　　6，000円
　　令和8年卒　　2，000円



出欠の返事は同封の浪速工業会行のハガキ表面に有ります出欠欄に
○印を付けてご投函くださいますようよろしくお願いします。

恩師の声

「アルコール発酵プラント実習」を顧みて



松下　正行
（在職期間：1983年4月～2001年3月）

3時限の授業が始まってしばらくすると、黒糖の蜜のような甘い匂いが工業化学棟の1、2階の廊下に漂い始める。また、日と時間によっては芋焼酎のような匂いもする時がある。工業化学科であれば薬品臭が似合うはずなのだが…。私はなんとも不思議な感覚を経験した。昭和58年、都島工業高校に転勤した時のことだった。

プラント実習を経験した卒業生の皆さんにはすでにお分かりだと思います。原料の“廃糖蜜”とポットスチルからの“粗留アルコール”の匂いであることを。その2年後にはプラント実習を担当することになり、以後縁が有ってかれこれ16年携わりました。今でも“黒糖かりん糖”や“芋焼酎”の匂いがすると、プラント実習の懐かしい情景が甦ってきます。

実習を重ねると「アルコール発酵プラント実習」の内容の素晴らしさに気付かされ、愛着を感じることがあります。ここで、アルコール発酵プラントの設置の記事文が工業化学科の沿革に記載されていたのでご紹介します。

当時の工業化学科ではプラント実習が特に重要視されていたことが、この記載文から窺い知ることができます。ところが、プラント実習が1970年代頃より全国的に衰退しだしました(重化学工業の成長鈍化の時期と重なって)。その衰退に抗うように、変わることなく続けていたのが本校のアルコール発酵プラント実習で、全国的に稀有な存在だと言われていたそうです。

プラント実習が継続できた理由は、プラントの基本である化学工学を中心としながらも実習内容が産業の変化に対応できる柔軟性があったからだと言えます。例えば、発酵工程の学習にバイオテクノロジーの概念を取り入れ、また、全自動発酵装置等の活用にも対応されてきました。今も、理数工学科のカリキュラムの中で柔軟性をもって継承されていることに感動しました。

半世紀を過ぎてもなお不死鳥のごとく活躍している「プラント実習」。その内容の素晴らしさについて、私が経験し感じたことを以下に記したいと思います。

①プラント実習室は、安全及び作業効率や教育効果を考慮した設備設計となっている。各装置が実習室3階分に立体配置されている。1階にはボイラー室、ポットスチル。2階は蒸煮機、発酵タンク、試料分析室。3階に酒母及び酵母菌の培養室。1階から2階を貫いて3階までの高さに45段の精留塔を設置。作業の動線、装置の配置、作業空間等にも配慮。

②原料から製品までの工程が蒸煮工程、アルコール発酵工程、単蒸留工程、連続精留工程の4工程に簡素化。化学工学の学習内容もフォローしている。

③化学反応の工程が“蒸煮工程”と“アルコール発酵工程”の2工程のみで簡素化。

④原料と製品の成分が植物由来のもので石油化学物質由来ではない。

未来を見据えて「アルコール発酵プラント」の設置に尽力された先生方の「先見の明」には頭が下がる思いがします。工業化学科、理数工学科で実習に携わってこられた先生方や実習を見守り応援してくださった先生方には大変お世話になりました。感謝致します。

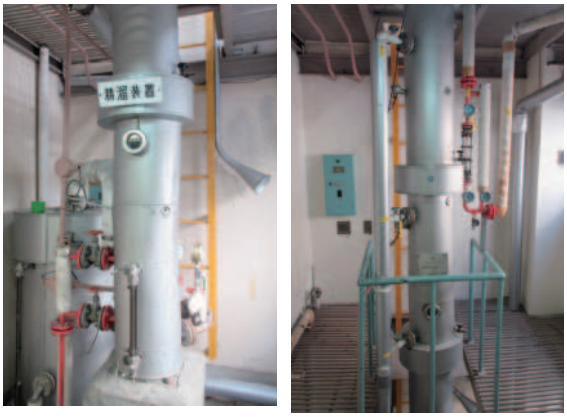
そして、忘れてはならないのは、生徒であった皆さんが最もよく頑張ってくれたことです。有難うございました。

昭和34年4月	アルコール発酵プラント完成する。これによりプラント実習のモデル校とみなされ、この装置を中心に多くの講習会を開く。
昭和37年6月	アルコール発酵プラントを工業化学科別館に移設。
昭和62年5月	バイオリアクター(全自動発酵装置および各種自動計測機)一式を設置し、バイオテクノロジーに関する大阪市研究指定校になる(期間2年)。

（都島工業高校 創立80周年記念誌・昭和62年10月31日発行 より抜粋）



装置類



精留塔

卒業生の声

情報教育の現場から母校を想う　― 理数工学科での学びが繋いだ今 ―



大川　茂太
（理数工学科　H28年卒）

大阪府立都島工業高等学校 理数工学科 卒業生の大川です。

私は現在、北海道の公立高校にて「情報」科の教諭として教壇に立っています。高校卒業後、6年間民間企業を経験してから大学に進学し、その後教育の道へ進みました。今振り返ると、私のキャリアの根底には常に都工での三年間がありました。

理数工学科で学んだことは、単なる知識としての「理数」に留まりません。実験や実習を通じて培った「仮説を立て、検証し、論理的に結論を導き出す」というエンジニアリングの思考プロセスこそ、最大の財産です。社会に出て、予測不能な課題に直面した際、この「論理的解決能力」がどれほど自身の助けになったか計り知れません。

在学中で特に印象に残っているのは、切磋琢磨したクラスメイトたちの姿です。友人は、現在誰もが知る大手メーカーのエンジニアとして、日本のものづくりを支えています。また、自ら起業し多くの人を幸せにしている友人もいます。彼らのような熱量を持った仲間と過ごした日々が、今の私の「教える」ことへの情熱の源泉となっています。

在校生の皆さん、都島工業、特に理数工学科での学びは非常に高度で、時には壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、ここで手にする「技術への理解」と「論理的思考」は、将来どのような道に進んでも皆さんの最強の武器になります。自分の可能性を狭めず、専門性を誇りに持って歩んでください。北の大地から、皆さんの飛躍を心より応援しています。



中学生体験入学



理数工学科集会

体育祭







座談会

都島工業高等学校 理数工学科 卒業生に聞く

― 3年間で得たもの、後輩へ伝えたいこと ―

出席者：理数工学科3年生
聞き手：同窓会会報編集委員




S.Sさん


M.Rさん


M.Yさん


H.Sさん

仲間との協働で学んだこと

聞き手　最初のテーマは「仲間との協働の中で学んだこと」です。普通校にはない良さも含めて聞かせてください。
S.Sさん　実習や行事を通じて、自分一人でやれることには限界があると感じました。文化祭や体育祭で仲間に協力を仰いだり、助けを求めたりすることが絶対に必要だと実感しました。そういう経験を実践の場で積めるのは、この学校の良いところだと思います。
聞き手　特に印象に残っていることはありますか。
S.Sさん　僕は応援団をやっていました。1年生の頃は先輩方に引っ張ってもらったのですが、3年生になって自分が引っ張る立場になった時、自分が教えるだけでなく、後輩からも自分の良いところや悪いところを教えてもらいました。切磋琢磨し合える関係でしたね。
聞き手　同級生だけでなく、上下関係も含めての「仲間」なんですね。
S.Sさん　はい。応援団という枠組みの中では、年齢の差をあまり感じませんでした。知らないことがあれば教え合う雰囲気がありましたし、みんなで協力して応援団を完成させていこうという気持ちで頑張っていました。軽音部でもバンドごとに切磋琢磨し合って、良い関係が作れていると感じていました。
聞き手　学校全体の雰囲気としてはどうですか。
S.Sさん　妹が普通科に通っているのですが、話を聞いていると、うちの学校は揉め事が少なくて、治安が良いと感じます。工業高校というと治安が悪いイメージを持たれがちですが、入ってみると全然違いました。

口頭試問と実習の経験

聞き手　口頭試問についてはどうでしたか。
S.Sさん　受け答えを実際に経験するというのは、他の学校では絶対にやっていないことだと思います。ある意味、面接の前練習のようなもので、自分の頭の中にある言葉を出しやすくなりました。経験がものを言うというか、友達同士で問題を出し合って準備していましたね。
聞き手　実験でも仲間と協力する場面が多かったのですか。
S.Sさん　はい。実験の操作も友達と一緒にやって、間違えそうになったら「ここ違うよ」と指摘し合っていました。仲間意識は自然と強くなっていきました。
聞き手　進学先でも役立ちそうなことはありますか。
S.Sさん　大学ではレポートが求められますが、この学校ではすでにその前段階をしっかりやっているので、書きやすいと思います。それと、周囲との距離感もつかみやすくなったと感じています。

課題研究で得たもの

聞き手　3年生の課題研究について聞かせてください。皆さんそれぞれ違うテーマだったのですか。
M.Rさん　僕は1年生の有機合成、2年生のプラント実習、3年生の課題研究と進む中で、糖を使った生分解性フィルムの研究をしました。実験や調べ物の過程がとても面白くて、似たような研究をしている大学を自分で見つけることができたので、進路の判断材料になりました。
聞き手　ストームグラスの研究をされた方もいましたね。
M.Yさん　はい。硝脳を中心とした成分で結晶を生成し、その出方と天気との関係を調べました。湿度なのか温度なのか、

薬品の比率をどうすれば結晶がうまく出るのかを1年間かけて実験しました。8人のグループで、得意不得意はありましたが、一人が走って周りが置いていかれるということがないように気をつけていました。全員が「今何を作っているのか」「どういう結果を出したいのか」を理解している状態を大事にしていました。

聞き手　一番思い出深い瞬間は何ですか。

M.Yさん　初めて結晶が出た時です。なかなか出なくて、気温のせいか、湿度のせいか、分量が違うのかといろいろ試した末に、ようやく結晶が現れた時は本当に嬉しかったです。

聞き手　円運動の実験をされた方もいらっしゃいますね。

S.Sさん・H.Sさん　遠心力と慣性力の関係を調べる実験でした。円盤を回す装置の土台やバネを自分たちで発注・製作して、理論値に近い近似値を出すことができました。データがきれいに乗った時は満足感がありましたし、外れた時はなぜ外れたのかと追求する過程も面白かったです。

入学のきっかけと進路選択

聞き手　皆さん、この学校に入ったきっかけはそれぞれ違うのですか。

H.Sさん　僕はもともと機械科を志望していて、塾の先生に勧められて都島工業に来ました。理数工学科では実験を一人でやるイメージが強かったのですが、実際はグループで取り組んだり、発表する場面もあったりして、良い経験になりました。

M.Yさん　私はもともと工業高校に来るつもりがなくて、高専を受けて不合格になり、私立も家庭の事情で受けられない中、塾の先生に勧められて入学しました。最初は毎日親と喧嘩するくらい嫌でしたが、「選んだからにはやるしかない」と覚悟を決めて、1 年の前期から委員長をやったりしました。

聞き手 そこから生物系に進もうと思ったきっかけは何ですか。

M.Yさん　2年生の時の生物基礎の授業で教科書を読んでいたら「めちゃくちゃ面白い」と感じたのがきっかけです。何の興味もない空っぽの状態で入学したからこそ、純粋に出会えたのだと思います。電気科に行っていたら、きっとこの出会いはなかったでしょう。工業高校に来たこと、理数工学科に入れたことに後悔はありません。

S.Sさん　僕は父がこの学校の卒業生で、塾の先生に勧められた後にそのことがわかりました。父のことを尊敬していて、同じ道をたどってみたいという憧れがありました。理数工学科は進路の選択肢が広いところが一番の魅力です。進学も就職もできますし、文系教科もおろそかにしないので文転もできます。

聞き手　文転されるのですか。

S.Sさん　はい、教育学部に行こうと思っています。この学校でいろいろ実験をする中で「楽しいな」と感じ、その楽しさを子どもたちに伝えたいと思いました。人に教えることも好きなので、初等教育を選びました。人手が足りないと聞いている分野だからこそ、そこに入って人の役に立ちたいという気持ちがあります。

M.Rさん　僕は小さい頃からものづくりが好きで、中学で理科の実験を面白いと思っていました。両親に「ものづくりができて理科系を学べるところがいい」と言ったら、「目の前の都島工業でいいやん」と。最初工業高校でこわいイメージがありましたけど、オープンキャンパスで来た時、先生や生徒がよく挨拶してくれて、雰囲気がいいなと思いました。

3年間を振り返って ― 一つだけキーワードを選ぶなら

聞き手　入学した時と卒業間近の今とで、自分の変化を一つのキーワードで表すとしたら何ですか。

S.Sさん　「レポート」ですかね。実習のレポートはとにかく力を入れて、誰にも負けないくらい書きました。

M.Rさん　「友情」です。わからないところはレポートでも何でも、人に頼ったり、先生に頼ったりして乗り越えてきました。

M.Yさん　「部活」です。バドミントン部に入っていたのですが、部活がなければ他学科との交流は絶対になかったと思います。女子は私一人でしたが、他学科の子と交流があったからこそクラスの子ともなじみやすくなりました。仲良くなる機会をたくさんもらえたのは部活動のおかげです。

S.Sさん　もう一つ加えるなら「人」です。この学校は挨拶を大切にしていて、僕はそういう細かいことの積み重ねが一番大きな変化につながると思っています。以前は挨拶をあまり交わしてこなかったのですが、ここで習慣ができたことは人付き合いにおいて大きな利点になりました。

後輩へのメッセージ

聞き手　最後に、これから入学してくる後輩に一言お願いします。

S.Sさん　気を抜かないことです。積み重ねがすごく大事な学校なので、提出物や日々の授業を疎かにすると転びます。毎日のやるべきことをコツコツできる力をつけてください。

H.Sさん　授業は自分なりに面白い覚え方を工夫していいと思います。悪ふざけみたいな語呂合わせでも、自分の印象に残りやすい方法で学べたらいいんじゃないかなと思います。

M.Rさん　実習や研究だけでなく、部活動などにも参加して、高校でしか味わえない体験をしてほしいです。運動や礼儀、仲間意識など、いろんなことが学べます。いろんなことに挑戦してください。

M.Yさん　どこの高校でも、3年間という時間は同じです。中でどう過ごすかが一番大事で、卒業する時に「入学して良かった」と言えるかどうかは自分次第です。1年生の時から、やってみたいと思うことには全部挑戦してほしいと思います。

（了）

理数工学科だより

理数工学科の近況について



理数工学科長　本田　裕也

向暑の候、舎密会の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。平素は本校理数工学科の発展のために、何かとご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて今春は卒業生47名を送り出し、新たに32名の新入生を理数工学科に迎えました。令和7年度の進路状況は表①のとおりとなります。国公立大学への合格者数は3名、同志社大学1名、関西大学に4名、近畿大学に5名、龍谷大学に6名、大阪工業大学・摂南大学に10名が合格することができました。卒業生がそれぞれの進路において夢を実現し、大いに活躍することを期待しております。

令和8年度の職員構成は表②をご覧ください。このたび理数工学科の実習指導を支えてくださいました近藤雄音先生が、任期満了に伴いご退職となりました。これまでの多大なるご尽力に感謝申し上げます。そして新たに谷純太朗先生をお迎えし、総勢10名一丸となって邁進してまいります。また各学年学級担任につきましては、3年生担任に昨年度からの継続で栗田先生と三原先生（理科）、2年生担任も同様に平田（旧姓:米崎）先生と田中先生（数学）、1年生担任には稗田先生という新たな体制で新年度を迎えました。

令和7年度の3年生におきましては、充実した学校生活の中で勉学・部活動ともに立派な成績をのこし、晴れやかな表情で卒業することができました。一方で、理数工学科では定員割れが続き、1クラス（35名）募集となった本年度も定員を満たしておらず厳しい状況となっております。私個人といたしましては、前任の植田先生からバトンを受け、科長として難しい舵取りを担う重責に、身の引き締まる思いでおります。これまで以上に在校生一人ひとりが、日々の学校生活の中で喜びや成功体験積みながら成長するために、理数工学科の職員一同が一丸となって指導に邁進していく所存です。

最後になりましたが、舎密会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

進路状況

進学	国公立大学 3名	大阪公立大学	農学部	生命機能化学科	1名
		豊橋技術科学大学	工学部	応用化学・生命工学科	1名
		北見工業大学	工学部	先進工学科	1名
	私立大学 述べ 51名	同志社大学	理工学部	機能分子・生命化学科	1名
		関西大学	化学生命工学部	化学・物質工学科	2名
		関西大学	理工学部	機械工学科	1名
		関西大学	商学部	商学科	1名
		近畿大学	農学部	応用生命科学科	2名
		近畿大学	農学部	農業生産科学科	1名
		近畿大学	理工学部	応用化学科	1名
		近畿大学	理工学部	生命科学科	1名
		龍谷大学	農学部	農学科	1名
		龍谷大学	経済学部	現代経済学科・国際経済学科	2名
		龍谷大学	経営学部	経営学科	3名
		大阪工業大学	工学部	応用化学科	6名
		大阪工業大学	工学部	建築学科	1名
		大阪工業大学	知的財産学部	知的財産学科	1名
		摂南大学	理工学部	都市環境工学科	1名
		摂南大学	農学部	食農ビジネス学科	1名
		大阪電気通信大学	情報通信工学部	通信工学科	2名
		大阪電気通信大学	情報通信工学部	情報工学科	1名
		大阪電気通信大学	工学部	基礎理工学科　数理科学専攻	2名
		大阪電気通信大学	工学部	基礎理工学科　環境科学専攻	3名
		大阪電気通信大学	健康情報学部	医療工学科	2名
		藍野大学	医療保健学部	臨床工学科	1名
		関西国際大学	心理学部	心理学科	1名
		吉備国際大学	農学部	海洋水産生物学科	1名
		京都精華大学	マンガ学部	アニメーション学科	1名
		森ノ宮医療大学	医療技術学部	鍼灸学科	1名
		大阪産業大学	システム工学部	システム工学科	3名
		大阪経済大学	経営学部	第1部　経営学科	2名
		大阪国際工科専門職大学	工科学部	デジタルエンタテインメント学科	1名
		大阪人間科学大学	人間科学部	子ども教育学科	1名
		大和大学	理工学部	生物生命科学専攻	1名
		東京都市大学	理工学部	電気電子通信工学科	2名
	専門学校等	大阪健康福祉短期大学	子ども福祉学科		1名
		大原法律公務員専門学校大阪校	文化教養専門課程法律行政学科	2年制公務員上級・中級レベルコース	1名
		神戸電子専門学校		サウンドテクニック学科	1名
		ホンダテクニカルカレッジ関西	一級自動車研究開発学科	自動車研究開発コース	1名
就職		NRS株式会社	タンクコンテナのメンテナンス/神戸		1名
		株式会社 AOS	一般警備職		1名
		住友化学 株式会社 大阪工場	化学プラント、ユーティリティ設備等運転要員		1名

表①

職員紹介

氏　名	主な校務分掌
本田　裕也	科　長
栗田　優馬	3年a組担任
三原　理緒	3年b組担任
平田　愛未	2年a組担任
田中　利幸	2年b組担任
稗田　祥之	1年a組担任
植田　裕之	生活指導課
遠藤　幸治	支援教育コーディネーター
長谷川　健	進路指導課
谷　純太朗	2年副担任
一色美由喜	健康教育課
井上　宣哉	理数工学科
木村　忠司	非常勤講師
加藤　士郎	非常勤講師
瀬戸　義雄	非常勤講師

表②

舎密会アルバム







令和7年度 懇親会

令和7年度 体育祭







令和7年度 会務報告

幹事会を1回開催

LINE会議を随時開催

令和7年度 事業報告

令和7年5月15日
会報44号発行

8月30日
会員懇親会開催

令和8年度 事業計画

令和8年6月8日
会報45号発行

令和8年8月29日
会員懇親会開催

理数職員室と相談しながらの
先輩講座開催予定

2025年度 収支報告書・2026年度 収支予算書

収入				支出			
科目	2025年度 予算	2025年度 実績	2026年度 予算	科目	2025年度 予算	2025年度 実績	2026年度 予算
事業収入	300,000	156,000	166,000	事業費	350,000	184,000	224,000
会費収入	96,000	121,000	94,000	総務費	10,000	0	10,000
部会還元金	200,000	188,700	190,000	編集費	80,000	105,600	195,000
預貯金利息	0	39,459	600	広告費	60,000	60,000	60,000
雑収入	0	0	0	理数科後援費	120,000	98,932	100,000
				交際費	50,000	34,000	42,000
				事務通信費	5,000	13,648	14,000
				振込料金等	1,000	6,655	7,500
				諸費	5,000	0	0
小計	596,000	505,159	450,600	小計	681,000	502,835	652,500
				剰余金	▲ 85,000	2,324	▲201,900
合計	596,000	505,159	450,600	合計	596,000	505,159	450,600

	2025年度予算	2025年度実績	2026年度予算
期首繰越金	2,763,929	2,763,929	2,766,253
当期剰余金	▲ 85,000	2,324	▲ 201,000
次期繰越金	2,678,929	2,766,253	2,565,253

令和7年度 舎密会賞



舎密会賞受賞者の皆さん

今年も成績優秀者に、舎密会賞を手渡すことができました。受賞者の皆さんおめでとうございます。又、今年から卒業記念品を卒業生に考えていただき、カークデスクスタンドを舎密会から贈呈しました。



カークデスクスタンド

会費納入のお願い

舎密会では、現在舎密会費を徴収しておりません。浪速工業会費の還元金と新入会員からの会費で賄います。卒業生はこれから減っていきますので会費収入も減少していきます。他部会のように活発に運営していこうとすれば、浪速工業会費の還元金を増やさなくてはなりません。物価高騰の折ですが、なにとぞご協力のほどお願いいたします。

会計報告の通り、会報をこのまま続けると、舎密会の運営に支障が出ることになります。新しい役員の頑張りを継続できるよう、理数科在校生と卒業生の交流も進めていきたいと考えます。その為会費納入、よろしくお願いします。

LINE公式アカウント開設のお知らせ

舎密会では、今年度からLINE公式アカウントを新たに開設しました。このアカウントを通じて、同窓生の皆様に最新情報やイベントのお知らせをタイムリーにお届けします。また、舎密会の活動内容をさらに身近に感じていただく場としてもご活用いただけます。登録方法は、会報内のQRコードをご利用ください。

同窓会をもっと楽しく、便利に！ぜひご登録をお待ちしております。

― 編集後記 ―

本年も会報をカラー8ページでお届けすることができました。来期もこの内容を維持し、さらに充実させていきたいと考えております。また舎密会では現在、在校生の進路選択を後押しする「先輩講座」の企画を検討しております。卒業生の皆様の歩みは、在校生にとって将来を描くヒントになるものと考えており、詳細が固まりましたら改めてご案内いたします。

同窓会の運営にご関心のある方は、舎密会のLINE登録後に「運営活動に興味があります」とメッセージをお送りください。会議は月1回程度オンラインで行っており、楽しくリラックスした雰囲気です。クラス会等の個別活動の情報もぜひお寄せください。